

[STEP 9] ～札を覚えよう(その8)～

[I] 《な》

さて、残った二十四枚の詠札を見てみよう。「な」で始まる札と「あ」で始まる札しか残っていない筈である。「な」の札の枚数は八枚ある。「な」札八枚の内訳は、「なにし」「なにはえ」「なにはが」「なつ」「なげき」「なげけ」「ながか」「ながら」となっており、四字決まりが二枚、三字決まりが五枚、二字決まりが一枚という構成である。「なに」で始まる札が、三字決まり一枚、四字決まり二枚の計三枚であることは、決まりの変化を確認する上で、充分注意が必要である。「な」札八枚は「にしにはつげが」と覚える。最初の「にし」は、「なにし」を指し、次の「には」が「なには」の二枚を指している。後の三文字は、それぞれ二字めを指しており、「つ」が「なつ」、「げ」が「なげ」の二枚、「が」が「なが」の二枚のことである。少々覚えづらいが、今までこれだけ多くの札を覚えてきたのであるから、簡単に覚えられることと思う。

では、詠札八枚に対応する取札八枚を取り出して、札を覚えてほしい。取札だけを見て決まり字が言えるように覚えよう。残るは、「あ」札十六枚のみである。

決まり字・下の句対照表

(な)

「なつ」……くものいつこにつきやとらむ
「ながか」……みたれてけさはものをこそおもへ
「ながら」……うしとみしよそいまはこひしき
「なげき」……いかにひさしきものとかはしる
「なげけ」……かこちかほなるわかなみたかな
「なにし」……ひとにしられてくるよしもかな
「なにはえ」……みをつくしてやこひわたるへき
「なにはが」……あはてこのよをすくしてよとや

[II] 《復習》 ～三十四枚の札をおさらいしよう～

「た」「こ」「わ」「お」「な」の取札三十四枚をよくシャッフルして、取札だけを見て決まり字を言ってみよう。忘れた札は、別にしておいて完全に覚えるまで、何度でも繰り返そう。全部頭に入ったら、残すは、「あ」の十六枚のみである。